

安全データシート

作成：2023年1月19日

原文：2022年4月8日

1 製品及び会社情報

製品名	AUTOL TOP2000 (蛇腹)
製造会社名	Eni Schmiertechnik GmbH (ドイツ)
販売会社名	株式会社 オーデック
住所	東京都品川区東五反田3-14-13 高輪ミュージビル
担当部門	金属表面処理事業部
電話番号	03-6447-7461
FAX 番号	03-6447-7405
E-Mail	info@audec.co.jp
整理番号	SDSj Top2000-220408-220819

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 ー

健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2A

環境に対する有害性 水生環境有害性 長期 (慢性) 区分 3

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告

危険有害性情報 強い眼刺激

長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

【一般】

医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。

子供の手の届かないところに置くこと

【安全対策】

取扱い後は製造者/供給者または所管官庁が指定する取扱後に洗浄する体の部分をよく洗うこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【救急処置】

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクト

レンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

【保管】

風通しの良い冷暗所に保管。

【廃棄】

内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って製造者/供給者/または所管官庁が指定する内容物、容器またはその両者に適用する廃棄物要件に廃棄すること。

3 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別 : 混合物
化学名 (又は一般名) : カルシウム石ケンگریース

組成

化学名	含有量 %	化審法番号	CAS 番号
ジアルキルジチオリン酸亜鉛	< 5	2-2185	4259-15-8

(高度精製基油 : IP346 法による DMSO 抽出物量 3%未満)

4 応急措置

一般情報 : 医師の診断が必要な場合は、製品の容器またはラベルを手元に用意する。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯する。

吸入した場合 : 呼吸が困難な場合は、被害者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸のために快適な姿勢で安静にする。問題が解決しない場合は、医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した後は、乾いた布で製品を取り除き、たっぷりの水で皮膚を水で洗い流す。皮膚炎症の場合は、医師に相談する。

目に入った場合 : まぶたを広げたまま、すぐに大量の流水で 10~15 分間洗い流す。コンタクトレンズを装着していて、容易に外せる場合は外し、すすぎを続け、その後、眼科医に相談する。

飲み込んだ後 : すぐに口をすすぎ、多量の水を飲む。意識のない人には口から何も与えない。無理に吐かせない。医師の診察を受ける。

急性および遅発性の最も重要な症状と影響 : 深刻な眼刺激を引き起こす。

緊急の医師の診察と特別な治療が必要な場合の表示 : 対処的に治療する。

5 火災時の措置

消火剤 : 噴霧水、泡、粉末、炭酸ガス、砂、等

使用してはならない消火剤 : 棒状注水

火災時の特定の危険有害性 : 火災の際に危険なガスや蒸気が発生する可能性がある。

更に、二酸化硫黄 (SO₂)、窒素酸化物 (NO_x)、アルデヒド、ケトン、一酸化炭素、および二酸化炭素が発生する可能性がある。有毒な熱分解生成物の生成の危険性がある。

消火を行う者の保護(保護具等)：呼吸用保護具（自給式呼吸保護具など）

追加情報：危険にさらされている容器を冷却するには、細かな水スプレーを使用する。安全に実行できる場合は、損傷していない容器を差し迫った危険区域から移動させる。汚染された消火用水は別途回収する必要がある。消火に使用した水が排水溝、地面、または水路に入らないようにする。火災残留物および汚染された消火水は、地方自治体の規制に従って廃棄する必要がある。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項：ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避ける。他の物質との接触を避ける。可能であれば、漏れを防止する。十分な換気を行なう。保護されていない人を近づけない。適切な保護具を着用する。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯する。

環境に対する注意事項：地下水、地表水、または排水路に入れないこと。必要に応じて、適切な当局に通知する。

除去方法：少量の場合は、液体結合剤（砂、ケイソウ土、酸結合剤または万能結合剤など）で吸収させ、密閉容器に入れて廃棄する。大量の場合は、機械的に回収する（ポンプで排出する場合は、防爆装置のみを使用する）。こぼれたものを元の容器に戻して再利用しない。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意

安全な取扱いのための注意事項：十分な換気を行い、必要に応じて局所排気を行う。ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避ける。目、皮膚、衣類につけない。適切な保護具を着用する。この製品を使用するときは、飲食や喫煙をしないでください。取扱い後は手をよく洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯する。職場に洗眼ボトルまたは洗眼液を用意しておく。

火災及び爆発防止に関する注意事項：熱から遠ざける。大量に取り扱う場合は、帯電に対する予防措置を講じる。

保管上の注意

適切な保管条件：

容器を密閉し、換気の良い場所に保管する。容器は乾燥した状態に保つ。オリジナル容器にのみ保管する。熱や直射日光を避ける。容器は立てた状態で保管する。

霜から保護し、推奨保管温度：5～40℃

保存安定性:> 6ヶ月 (5 - 40℃)

酸化剤と一緒に保管しない。食べ物、飲み物、動物の餌から離して保管する。

貯蔵等級: 12 = 不燃性液体

8 暴露防止及び保護措置

設備対策：十分な換気または排気システムを提供するか、完全に自己完結型の機器で作業すること。

許容濃度：監視が必要となる成分は含有していない。

保護具の着用

呼吸用の保護具：換気が不十分な場合は、呼吸保護具を着用する。フィルタークラスは、製品の取り扱い時に発生する可能性のある最大汚染物質濃度（ガス/蒸気/エアロゾル/微粒子）に適している必要がある。

手の保護具：耐溶剤性のある化学防護手袋を使用する。

目の保護具：保護眼鏡（ゴーグル）を使用する。

皮膚及び身体の保護具：作業保護服を用いる。

9 物理的及び化学的性質

形状		: ペースト状
色		: 淡黄色
臭い		: 特有臭
融点	℃	: >150
沸点	℃	: >250
引火点	℃	: >200
分解温度	℃	: >240
密度	g/ml	: 0.93
相溶性	水	: 不溶
自然発火性		: なし
爆発限界		: 爆発する危険はない

10 安定性及び反応性

化学的安定性：推奨される保管条件下では安定。

危険な反応の可能性：規定に従って取り扱い、保管した場合、危険な反応はない。

避けるべき条件：熱源、火花、裸火、直射日光を避ける。霜から保護する。

混触危険物質：強力な酸化剤

危険な分解生成物：適切に使用すれば分解しません。熱分解: > 240 °C

11 有害性情報

毒物学的影響	: 製品自体の毒性データはない。
急性毒性（経口）	: データなし
急性毒性（経皮）	: データなし
急性毒性（吸入）	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
深刻な眼の損傷/刺激	: 眼の刺激。（H319 = 深刻な眼刺激を引き起こす）
気道への感作	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性/遺伝毒性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
授乳への影響	: データなし
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし
内分泌かく乱特性	: データなし

12 環境影響情報

水生毒性:	長期にわたる影響で水生生物に有害。 ジアルキルジチオリン酸亜鉛に関する情報: EL50 <i>Daphnia magna</i> (オオミジンコ): 75 mg/L/48h (OECD 202) 水害クラス: 1 = 水に対してわずかに危険 (自己分類 (混合物))
生態毒性:	データなし
残留性、分解性:	データなし
生体蓄積性:	データなし
土壤中の移動性:	データなし
PBT 及び vPvB 物質:	データなし
内分泌かく乱特性:	データなし
その他:	下水、側溝に入り込まないように注意する。

13 廃棄上の注意

- 廃棄物処理業者への委託: 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託する。
- 容器の処理: 空容器は清浄にしてリサイクルするか、許可を受けた廃棄物処理施設に廃棄する。

14 輸送上の注意

- 国連分類 : 対象外
国連番号 : 対象外
注意事項 : 運送に際しては、容器に漏れの無いことを確認し、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

- PRTR 法 : 非該当
労働安全衛生法
危険物 : 非該当
有機溶剤中毒予防規則 : 非該当
表示物質 : 非該当
通知対象物 : 非該当
消防法 : 非該当
船舶安全法 : 非該当
海洋汚染防止法 : 非該当

16 その他の情報

この製品安全データシートは、製造会社作成の SDS 情報及び日本法規に基づいた情報を弊社が日本顧客用に編集した物です。

この情報は安全性に関するもので、品質を保証するものではありません。

製品に記載されている取扱い以外の方法では使用できません。